

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス えだまめ		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムの内容について	・全体活動として、制作、音楽、読み聞かせなどを行っている。季節感を感じられる制作、歌を意識しながら企画をしており、利用児には様々なコミュニケーションツールを使いながらできるだけご本人の意思や選択ができる事を大切にしている。個別活動については個人の発達や当日の体調に合わせたプログラムを提供している。	他事業所での経験を活かし、職員みんなで活動の案を出し合い実施をしていく。
2	・学校への送迎、帰りの送迎について	・2か所の学校、又は終業時間が異なるクラスに対応した送迎を行っている。2か所の学校のうち、1か所は週2日ではあるがニーズに対応し送迎時間を調整している。また、帰りについても1便を対応させ、1名～2名の送迎を行っており、往復1時間かかると思われる送迎時間の負担軽減につなげられている。	送迎車、運転手、添乗職員の体制が今のところ上限の状態である。車両内の安全、車両整備等には引き続き整備、整理を行っていく。
3	・幅広い年齢層、えだまめを利用している他の学校の利用児との関わりがあること	・年齢、学校の異なる他児との関わりと過ごすことを大切にしている。	他児との関わりを大切にし、みんなで参加できる活動の立案、実施をしていく。
4	・職員、職場について	・毎日の支援前の打ち合わせや支援後の会話の中で利用児についての気づき、確認事項、保護者、学校からの情報の伝達、周知を皆が速やかに行い、情報共有をしている。また、月1回のスタッフ会議でも利用児の支援目標に対しての意見、情報交換を行っており、風通しの良い職場作りを皆で行っている。	勤務がシフト制になっており、毎日顔を合わせない職員への連絡周知を徹底させる。また、職員同士が意見、不安な事、反省する事などを言い合い、お互いが専門知識を活かし教え合える職場作り、コミュニケーションを大切にし専門職の集まりの強みを活かしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用希望にこたえることができていない。	・新規利用のニーズはあるものの、希望に応えることができていない。 ・現状、利用している曜日以外にも利用したい希望もいただいているが、定期に決まっている利用日以外の日に利用したいというニーズに応えることがなかなか出来ていない。	早めに利用キャンセルが出た場合、利用児とご家族の都合が合えば利用をしていただける仕組みづくりを検討、協議をしていく。
2	・活動スペースについて	・既存の建物を使用しており、限られたスペースしかないのが現状、利用児の体の成長に伴い、マット上で過ごしたい児童、動いて遊びたい利用児が安全、安心して過ごせるスペースであるかが課題。	クールダウンできる個室が確保できると良いと思うが、今後部屋の活用方法を検討、協議をしていく。
3	・地域との連携が弱い	・2024年度は地域の方の交流の場を1回設けることができたが、平日の放課後支援では地域の子どもたちと交流する機会は提供できていないし難しい。	将来的に、地域のボランティア等を受けることができたらいと思う。